

MIC Worship Service – 2022.07.03

Title: “Unity in the Church”

Text: Philippians 4:1~3, NIV

教会における結束

ピリピ人への手紙4章1節～3節

¹ Therefore, my brothers and sisters, you whom I love and long for, my joy and crown, stand firm in the Lord in this way, dear friends!

² I plead with Euodia and I plead with Syntyche to be of the same mind in the Lord. ³ Yes, and I ask you, my true companion, help these women since they have contended at my side in the cause of the gospel, along with Clement and the rest of my co-workers, whose names are in the book of life.

1だから、わたしが愛し、慕っている兄弟たち、わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、このように主によってしっかりと立ちなさい。

2わたしはエボディアに勧め、またシンティケに勧めます。主において同じ思いを抱きなさい。3なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンスや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。

Introduction

Vesta M. Kelly once said, “Snowflakes are one of nature's most fragile things, but just look what they can do when they stick together.”

ヴェスタ・M・ケリーの有名な引用があります。「雪の結晶は自然界で最も壊れやすいものの一つだが、それらがくっつくと素晴らしい働きができる」と言う言葉です。

Likewise, individually we are weak, but when we stand united in Christ, together wonderful things can happen.

同じように、私たち一人ひとりには弱い存在ですが、キリストのもとに団結すれば、共に素晴らしいことが起こるのです。

Our Bible passage today is **Philippians 4:1~3**. And from this passage we are going to look at four (4) characteristics of unity.

今日の聖書の箇所はピリピ人への手紙4章1～3節です。この箇所から、『団結』についての4つの特徴を見ていきたいと思います。

- I. Unity denotes *loving* one another with joy – verse 1
- II. Unity denotes *living* with one another in harmony – verse 2
- III. Unity denotes *looking out* for one another with the truth - verse 3a
- IV. Unity denotes *laboring* with one another for the gospel – verse 3b

- I. 団結とは、喜びをもって互いに愛し合うこと-1節
- II. 団結とは、互いに調和して生きることです(2節)。
- III. 団結とは、真理をもって互いに気を配ること- 3節a
- IV. 団結とは、福音のために互いに働くことです(3節b)。

I. Unity denotes loving one another with joy – verse 1

¹ Therefore, my brothers and sisters, you whom I love and long for, my joy and crown, stand firm in the Lord in this way, dear friends!

まず、『団結』についての一つ目の特徴についてお話ししましょう。

I. 団結とは、喜びをもって互いに愛し合うこと-1節

1だから、わたしの愛し慕っている兄弟たちよ。わたしの喜びであり冠である愛する者たちよ。このように、主にあって堅く立ちなさい。

In today's passage we will see *four (4) different types of relationships and the keys to maintaining unity* in each. The first one we see is written in verse 1.

今日の箇所では、4つのタイプの人間関係と、それぞれの関係において『一致団結を保つための鍵』について見ていきます。まず、その1つ目の人間関係が1節に書かれています。

Let's look at **Paul's relationship with the Philippian church**. Paul was instrumental in planting the church in Philippi. He was their spiritual mentor. Notice the kind of relationship He has with them. **He loves them**. He's not embarrassed to express his feelings about them.

パウロとピリピ教会との関係を見てみましょう。パウロはピリピに教会を建てのに貢献しました。パウロはピリピ人にとって霊的な指導者でした。ここでは、パウロがピリピ人達とどのような関係を持っているに注目してください。パウロはピリピの人々を愛しており、彼はピリピ人らに対する自分の感情を恥ずかしげもなく表現しています。

Love is absolutely essential for unity in the church between the leaders and the congregation. Why? Because people sin. Take Moses and David, for example.

教会で指導者と信徒が団結するためには、愛が絶対に必要です。なぜでしょうか？なぜなら、人は罪を犯すからです。例えば、モーセとダビデの例を見てみましょう。

Moses was a good leader, right? Jews revere Moses more than anyone else in their history. And yet the people complained. At one point they were so angry at Moses that they threatened to stone him.

David is another respected leader in the Old Testament. And yet the nation rebelled against him... more than once.

モーセは良い指導者でしたね。ユダヤ人はモーセを歴史上の誰よりも尊敬しています。それなのに、民衆は文句を言いました。ある時は、モーセに腹を立てて、石を投げてやると脅したこともありました。

ダビデも旧約聖書の中で尊敬されている指導者です。しかし、民衆は何度も彼に反抗しました。

And of course, our Lord Jesus. Jesus Christ came to save His people. He healed, taught and fed them. And in return, they killed Him.

そしてもちろん、私たちの主イエスである、イエス・キリストはご自分の民を救うためにこの世に来られました。イエスは彼らを癒し、教え、食べさせました。それなのに、その見返りとして、人々はイエスを殺してしまったのでした。

If these leaders were not compelled by love, they would have given up. They would have said, "It's not worth it. I'm done." But because they loved their people, they kept going.

1 Peter 4:8 – Above all, love each other deeply, because **love covers over a multitude of sins**.

もし、モーセのような指導者たちが愛に駆られていなかったら、彼らは今ごろは、あきらめてしまい、『もうやっても意味がない。もう手は尽くした。』と言ったことでしょう。しかし、彼らは人々を愛していたからこそ、進み続けたのです。

第一ペテロ4:8—8何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。

APPLICATION: Are you a leader? There are probably a lot of you who are leaders who don't realize it. If you are a parent, you are a leader too. If you are a boss or a manager, a teacher, those serving in ministry directing people under you (for example SS teachers, worship leaders, and ministry leaders). Possibly you have been leading, but without sincere love for them. Perhaps you complain about your students. Maybe you get frustrated with your kids. Maybe there is no joy in it for you.

あなたはリーダーですか？リーダーでありながら、それに気づいていない人はたくさんいるはずです。もしあなたが親であるなら、あなたもリーダーです。もし、あなたが、上司やマネージャー、教師、部下を指導するミニストリーの奉仕者、例えば、日曜学校の先生、礼拝のリーダー、ミニストリーのリーダーであるなら、あなたもリーダーです。もしかしたら、あなたはリーダーでありながら、人々に対する心からの愛がないまま、彼らを指導しているかもしれません。もしかしたら、あなたは生徒のことで文句を言っているかもしれません。もしかしたら、あなたは子どもたちに不満を感じているかもしれません。もしかしたら、あなたは喜びを感じていないかもしれません。

I ask you to pray. *Firstly*, pray that God will fill your hearts with love for those you are leading. Pray that He will take away any wrong emotion or attitude which you have had toward them. *Secondly*, pray for them. If you really love them, you will pray for them. Have you been praying regularly for those whom you serve? Maybe you have in the past, but you have gotten away from it. Commit yourself again to praying for them. As you do, God will also increase your love.

ですから、まず祈っていただきたいのです。まず、あなたが指導している人たちに対して愛を持ち、彼らへの愛であなたの心が満たされるように祈ってください。また、あなたが彼らに対して持っている間違った感情や態度を取り除いてくださるよう神に祈りましょう。そして次に、彼らのために祈りましょう。もしあなたが本当にその人を愛しているなら、その人のために祈ることができるでしょう。あなたは、自分が仕えている人たちのために定期的に祈ってきましたか？もしかしたら、過去に祈ったことがあるかもしれませんが、今は祈ることから遠ざかってしまっているかもしれません。もう一度、自分が指導している人々のために祈ってください。そうすれば、神はあなたの愛をさらに強めてくださるでしょう。

And, if you consider yourself **a follower**, take to heart what the Bible says in Hebrews...

Hebrews 13:17 – *Have confidence in your leaders and submit to their authority, because they keep watch over you as those who must give an account. Do this so that their work will be a joy, not a burden, for that would be of no benefit to you.*

そして、もし、自分が指導者に従う立場だと思うなら、聖書のヘブル人への手紙に書いてあることを心に留めておいてください。そこには、次のように書かれています。

ヘブル人への手紙 13:17—17あなたがたの指導者たちの言うことを聞きいれて、従いなさい。彼らは、神に言いひらきをすべき者として、あなたがたのたましいのために、目をさましている。彼らが嘆かないで、喜んでこのことをするようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならない。

Help your leaders respond with joy by following and obeying. Pray for them. You can encourage them. You can support them. How will you show love to a leader this week?

あなたのリーダーに、喜びを持って応え、従ってください。リーダー達のために祈りましょう。あなたはリーダー達を励まし、サポートすることができるのです。今週、あなたはどのようにリーダー達に愛を示すことができるでしょうか？考えてみてください。

APPLICATION: Paul calls the Philippians his **“joy and crown.”** He doesn't feel depressed and irritated when he thinks about them. Seeing them do well makes Paul joyful. Here is a simple test to see if you have unity with other believers.

- *Ask yourself if you long to see them.* If you dread getting together and enduring a meeting or conversation with a certain person, then you do not have unity with that person. The dread or fear of meeting is a symptom of an underlying problem. If we have unity we will want to spend time together.
- *Ask yourself if when you think about them you are joyful.* If the answer is “yes,” then most likely you have unity. But if thinking about them makes you grumpy and upset, then it is a sign that there is a problem underneath the surface which you need to solve.

パウロはピリピの人たちを『喜びであり冠である』と呼んでいます。パウロが彼らのことを考えるとき、落ち込んだり、いらいらしたりすることはないのです。ピリピの人達が順調に生活しているのを見て、パウロは喜びを感じているのです。ここで、あなたが他の信者と団結しているかどうかを見るための簡単な質問があります。一つ目の問いです。

- 他の信者達に会うのが楽しみかどうか、自分に問いかけてみてください。もしあなたが、人と会うことを恐れていたたり、我慢しながら人と一緒に集まってミーティングや会話をしているのなら、あなたはその人たちと結束しているとは言えません。会うのが怖いというのは、対人関係に根本的な問題があるという証拠です。もし私たちが結束していれば、人々と一緒に時間を過ごしたいと思うはずですよ。そして、二つ目の問いです。
- 相手のことを考えるとき、あなたが喜びを感じているかどうか、自分に問いかけてみてください。答えが『はい』であれば、あなたが人々と結束しているという可能性は高いでしょう。しかし、相手のことを考えると、不機嫌になったり動揺したりする場合、あなたは解決しなければならない問題を対人関係上で抱えていることを自覚しましょう。

Unity denotes **loving one another with joy.**

結束とは、喜びをもって互いに愛し合うことを意味します。

II. Unity denotes living with one another in harmony – verse 2

² *I plead with Euodia and I plead with Syntyche **to be of the same mind in the Lord.***

次に、『団結』についての二つ目の特徴についてお話しします。

II. 団結とは、互いに調和して生きること-2節

2わたしはエボディアに勧め、またシンティケに勧めます。主において同じ思いを抱きなさい。

The second relationship we see in this passage is between Euodia and Syntyche. Paul had heard some news (maybe from Epaphroditus) that Euodia and Syntyche were having some issues getting along.

この箇所で見られる二つ目の関係性があります。それは、エボディアとシンティケの関係です。パウロは、エボディアとシンティケの仲が悪いという知らせを、おそらくエパフロデトから聞いていたと思われます。

For whatever reason, friction or conflict had developed between them; they weren't living in unity. Such kind of factions are so dangerous to a church's wellbeing, Paul considered it necessary to single them out to exhort them to resolve the issue. They need to live in harmony.

何らかの理由で、彼らの間に摩擦や対立が生じ、団結した生活をしていなかったのです。このような派閥は、教会の健全な運営にとって非常に危険であるため、パウロは彼ら呼び出し、その問題を解決するように諭す必要があると考えたのです。彼らは調和して生きるべきだったのです。

The Bible doesn't tell us what their conflict is. It could have been an insult or a harsh word which hurt a friendship. It could have been perceived or real disrespect. It could have been a heated disagreement on a doctrine or a miscommunication. The same kinds of things that cause disunity today, caused disunity then. But, whenever there's disunity in the church, it is always an ugly thing.

聖書には、エボディアとシンティケの争いが何であるかは書かれていません。それは、友情を傷つけるような侮辱や厳しい言葉だったかもしれませんし、それは、無礼な態度であったかもしれません。それはまた、教義に関する激しい意見の相違だったかもしれませんし、コミュニケーションの間違いだったかもしれません。今日

(こんにち)でも起こる、不和の原因と同じことが、当時も不和の原因となっていたのです。しかし、教会に不和があるときはいつも、それは醜いものです。

It is not right for believers to divide and hold grudges against each other. When this happens there's disharmony. It is damaging to the church's testimony. It is harmful to harmonious relationships. And it is a hindrance to each individual's walk with the Lord.

信者が分裂し、互いに恨みを持つことは正しいことではありません。このようなことが起こると、不調和が生じます。教会の証は損なわれ、調和のとれた人間関係も損なわれてしまいます。そしてそれは、一人ひとりの、主との歩みの妨げになります。エペソ人への手紙4章に、そのことが書かれています。

Ephesians 4:1~3 – *As a prisoner for the Lord, then, I urge you to live a life worthy of the calling you have received. ²Be completely humble and gentle; be patient, bearing with one another in love. ³Make every effort to keep the unity of the Spirit through the bond of peace.*

エペソ人への手紙4章1~3節—1さて、主にある囚人であるわたしは、あなたがたに勧める。あなたがたが召されたその召しにふさわしく歩き、2できる限り謙虚で、かつ柔和であり、寛容を示し、愛をもって互に忍びあい、3平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように努めなさい。

These verses gives us important hints to unity. *Firstly*, the attitude is important. To keep unity, you must be humble, gentle, and patient. Isn't it better to lose an argument than to lose a friend? Isn't it better to listen than to push your own opinion. We are commanded to be “*quick to listen, slow to speak and slow to become angry*” (James 1:19). The Book of Proverbs says, “*a gentle answer turns away wrath.*” Unity means humbling yourself. It means bearing with one another.

この聖句は、私たちが一致団結するための重要なヒントを与えてくれます。まず、態度が大切です。団結を保つためには、私達は謙虚で、優しく、忍耐強くなければなりません。議論を戦わせすぎて、友人を失いたくはないでしょうか？自分の意見を押し通すより、他人の意見に耳を傾ける方が良いのではないのでしょうか？私達は「聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそい」(ヤコブ1:19)ように命じられています。箴言には、「優しい答えは怒りを遠ざける」とあります。『団結する』とは、自分を低くすることです。それは互いに耐え忍ぶということなのです。

Secondly, we see that we have to “**Make every effort to keep the unity.**” Some translations say, “**diligent.**” It is hard work! It takes effort.

第二に、『団結を保つためにあらゆる努力をする』とあります。ある訳では、『勤勉に』とあります。これは努力が必要なので、大変なことです。

Thankfully, according to this verse, **believers already have unity!** That is the starting point when you come to Christ. Things get complicated when sin enters the scene and unity is broken.

ありがたいことに、この聖句によると、信者はすでに一致団結した状態になっているのです。団結した状態とは、実は、私達がキリストを信じた時の出発点だったはずなのです。しかし、罪が入り込み、私達の結束が崩れると、物事は複雑になってしまいます。

That idea of living in harmony is a beautiful picture. But how is it possible? Take MIC, our church for example. We have about 15 different nationalities. We come from different backgrounds. We have different cultures and languages. How can we ever live in harmony together?

調和して生きるというその考え方は、素晴らしい考え方です。しかし、それはどのように可能なのでしょうか？例えば、私たちの教会、箕面国際教会を例にとってみましょう。私たちの教会には約15の異なる国籍の人々がいます。私たちは異なる背景を持っています。文化も言語も違います。どうすれば、私たちは共に調和して生きることができるのでしょうか。

Verse 2 contains the answer. It says, **“in the Lord.”** People have no hope to live in unity without the Lord. We have too many sins, too many differences, and too many different opinions. Yet with the Lord all things are possible and we can truly be one.

実は、2節にその答えが書かれています。それは、『主において』と書かれている箇所が答えです。人々は、主なしには団結して生きることはできません。私たちにはあまりにも多くの罪があり、あまりにも多くの違いがあり、あまりにも多くの異なる意見を持っています。しかし、主がいれば、すべてが可能になり、本当に一つになることができるのです。

A.W. Tozer, *The Pursuit of God*: “Has it ever occurred to you that one hundred pianos all tuned to the same fork are automatically tuned to each other? They are of one accord by being tuned, not to each other, but to another standard to which each one must individually bow. *So one hundred worshipers [meeting] together, each one looking away to Christ, are in heart nearer to each other than they could possibly be, were they to become 'unity' conscious and turn their eyes away from God to strive for closer fellowship.*”

アメリカの牧師で著者である、エイデン・ウィルソン・トウザーは、『神の追求』という本の中で、次のように書いています。『100台ものピアノが、すべて同じ1本のフォークで調律され、互いに音を合わせていくような光景を思い浮かべたことがあるでしょうか。しかし、それらのピアノは、実は互いに音を合わせているのではなく、それぞれが個別に、別々の基準に合わせて調律されることによって、最終的に音が一致するのです。ですから、100人の礼拝者が共に集っていても、もし私たちが「団結しよう」としているのに、神から目をそらしてしまうと、親密な交わりはできなくなります。しかし、それぞれがキリストに目を向けていれば、心の中では互いに近づき得ないほど近い存在になれるのです。』

This is how we live in harmony with one another. Christ is our standard. Each believer needs to be tuned to Christ. When we are in tune to Christ, we are in tune to one another.

これが、私たちが互いに調和して生きる方法です。キリストが私たちの基準となるのです。信者はそれぞれキリストのようになる必要があります。キリストのようになれば、私たちは自ずと互いに同調していくことができます。

APPLICATION: Is there another believer you have had a quarrel with? One of you was offended or upset? Has it been solved? Has it been confessed? Has it been forgiven? God’s grace is enough to overcome. Ask Him for the love and compassion to forgive, or the courage and humility to confess. Go to that person and deal with it.

あなたは、他の信者と喧嘩をしたことがありますか？どちらかが気分を害したり、動揺したりしたことはありますか？それは解決されましたか？それは告白されましたか？赦されましたか？神様の恵みはどのようなことでも克服してください。赦すための愛と思いやり、あるいは告白する勇気と謙遜を主に求めてください。そして、その人のところに行って、解決してください。

That is the specific application. But the general application is to **keep on growing closer to Christ**. The closer you are to Him, the closer you will be to other believers who are also following Him. Unity denotes **living with one another in harmony**.

それが、団結する具体的な方法です。つまりは、あなたがキリストに近づけば良いのです。あなたがキリストに近づけば近づくほど、同じようにキリストに従っている他の信者たちにも近づくことができるようになるのです。

一致団結とは、互いに調和して生きることを意味します。

III. Unity denotes looking out for one another with the truth - verse 3a

次に、『団結』についての三つ目の特徴についてお話しします。

III. 団結とは、真理をもって互いに気を配ることです -3節a

“Yes, and I ask you, my **true companion**, help these women...”

『なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。』

St. Paul here introduces another person and another relationship to the unity equation. Paul calls on his **“true companion”** to help these women. There is some debate about the identity of this person. Some believe that the original word is actually a proper name, **“Syzogos.”** Whether or not this is the case, this person was someone Paul called on to help these women get back to unity. Likely it was someone who knew both of them and perhaps also a leader in the church.

聖パウロはここで、人々を団結させるために他の関係性を招き入れようとしています。すなわち、パウロはこの女性たちを助けるために「真実の協力者」を呼び寄せているのです。この人物の正体については、いくつかの議論があります。ある人は、原語は実際には固有名詞である『シゾゴス』という名前の人物ではないかと言われることもあります。そうであろうとなかろうと、この人物はこの女性たちが同調するのを助けるために、パウロが呼んだ人物です。おそらく二人の女性を知っている人であり、また教会の指導者であったのでしょう。

So far we have seen how to maintain unity between a leader and his followers and how to have unity together with other believers. But what should you do if you see two other believers who quarreling? What should you do when you see division?

これまで、指導者と従者の間の結束と、他の信者との結束について見てきました。しかし、もしあなたが他の二人の信者が争っているのを見たら、どうしたらいいのでしょうか？分裂を見たら、どうしたらいいのでしょうか？

Of course one possible response would be to close your eyes, cover your ears, turn the other way and say, *“It’s not my business.”* But this may not be what God is calling you to do. *God maybe calling you to be part of the solution.* Like this true companion, perhaps you can **help other believers to face their issues and resolve them.**

もちろん、目を閉じ、耳を塞ぎ、そっぽを向いて、『私には関係ないことだ』と言うのも一つの手でしょう。しかし、それは神様があなたに呼びかけていることではないかもしれません。神様は、あなたを解決策の一部に用いるように求めているのかもしれませんが。あなたは、この『真の協力者』のように、他の信者が問題に直面した時に、それを解決するのを助けることができるかもしれません。

Edmund Burke: *“It has been profoundly said, and how true it is, that the only thing necessary for evil to exist is for good people to remain silent.”*

エドマンド・バーク:「悪が存在するために必要な唯一のことは、善良な人々が沈黙していることである、とされているが、それは確かな真実である。」

We could adjust this quote a bit. *“Evil division will spread when faithful believers see it and remain silent.”*

このエドマンドの引用を、次のように少し変えてみましょう。『忠実な信者がそれを見て沈黙すれば、邪悪な分裂は広がるだろう。』

また、マタイによる福音書5章とガラテヤ人への手紙6章には、次のように『信者の悪と沈黙』のことが書かれています。

Matthew 5:9 – *Blessed are the peacemakers, for they will be called children of God.*

マタイによる福音書5章9節—9平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。

Galatians 6:1 – *Brothers and sisters, if someone is caught in a sin, you who live by the Spirit should restore that person gently. But watch yourselves, or you also may be tempted.*

ガラテヤ人への手紙6章1節—1兄弟たちよ。もしもある人が罪過に陥っていることがわかったなら、霊の人であるあなたがたは、柔和な心をもって、その人を正しなさい。それと同時に、もしか自分自身も誘惑に陥ることがありはしないかと、反省しなさい。

God wants us to be peacemakers. He wants us to help other believers get back to this unity when there's conflict. Help restore those who are quarreling with a spirit of gentleness.

神様は、私たちが平和を作り出す人になることを望んでおられます。争いがあるとき、神は、信者たちが再び結束することを助けたいと願っておられます。喧嘩している人たちを、やさしさの精神で、再び調和に戻る手助けをしましょう。

Don't be arrogant. Don't be in a hurry to correct others. Do not rashly jump in and take sides. When you see division, **first pray**. Pray for the offending parties. Pray for yourself. Ask God for wisdom. Consider if He is calling you to approach one or both of the parties. Pray and ask the Spirit to lead you as to which course may be appropriate.

そして、傲慢であってはなりません。慌てて他人を正さないように気をつけてください。軽率に飛び込んで、味方や敵を作らないようにしてください。分裂を見たら、まず祈ってください。違反者のために祈ってください。自分のためにも祈りましょう。神様に知恵を求めてください。神様が、あなたを当事者の一方、または両方にアプローチするように求めておられるのかどうか、考えてみてください。どのような方法が適切か、御霊に導いていただけるように祈りましょう。

Unity denotes **looking out for one another with the truth**.
団結とは、真実に基づいて互いに気を配ることを意味します。

IV. Unity denotes laboring with one another for the Gospel – verse 3b

“Help these women since they have contended at my side in the cause of the gospel, along with Clement and the rest of my co-workers, whose names are in the book of life.”

最後に、『団結』についての四つ目の特徴についてお話しします。

IV. 団結とは、福音のために互いに努力することです -3節b

『この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンスや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。』

In the second part of verse 3, another relationship is introduced and another aspect of unity. **These women and Clement, and other fellow workers** are all laboring together side by side with Paul for the gospel. // Here we see Paul reminding the Philippians of this principle. Euodia and Syntyche are on the same team. They have the same goal. Being reminded of this can perhaps help them to stop fighting.

3節の後半では、もう一つの関係が紹介されており、団結のもう一つの側面が紹介されています。この女性たちやクレメンス、その他の仲間たちは、皆、パウロと肩を並べて福音のために努力しているのです。ここでは、パウロがこの原則をピリピの人々に思い出させているのがわかります。エボディアとシンティケは同じチームの一員で、彼らは福音という同じ目標を持っています。このことを思い起こすことによって、彼らは争いをやめることができるのではないのでしょうか。

Take soldiers for example. When they are in a battle against a common enemy, petty differences are put aside and they fight together side by side for their very lives.

例えば、兵士です。共通の敵との戦いになれば、些細な違いはさておき、命がけで共に肩を並べて戦います。

Right now, I would like you to look around. See the different people joining us today. See all those smiling faces? You have the same goal. *We are all here to glorify God*. All of us should be laboring together to build God's kingdom by spreading the gospel.

今、周りを見渡してみてください。今日、この教会に参加しているさまざまな人たちを見てください。笑顔が見えますか？皆さんは同じ目標を持っています。私たちは皆、神を賛美するためにここにいるのです。福音を伝えて神の王国を建てるために、私たちは皆、共に働くべきなのです。

Having the same goal gives us unity. Moreover, when we work together, this too reinforces unity. Have you ever felt that way about work? When you join a work project and get your hands dirty side by side others it creates a solidarity. It builds up a cooperative spirit. Why? Because we were working together as a body for the same goal.

同じ目標を持つことで、団結力が生まれます。さらに、一緒に仕事をするので、これもまた結束を強めてくれます。仕事について、そんなことを感じたことはありませんか？仕事のプロジェクトに参加し、他の人と並んで手を汚すと、連帯感が生まれます。そこから協力的な精神が育まれるのです。なぜでしょうか？それは、私たちが同じ目標に向かって一丸となって働いているからです。

And you know what happens when we work together? People don't have time to fight. You may have heard the saying, "An idle mind is the devil's playground." When you are not hard at work striving for a goal it is easy to get distracted. It is easy to focus on the wrong things. It is easy to become critical and judgmental. Division and quarreling is much more likely to plague a church that is not laboring for the gospel. And people who are on the sidelines not doing the work are much more likely to spend their time finding fault and causing disunity than those whose hands are busy working for the Lord.

そして、私たちが一緒に仕事をするとうなるか分かりますか？人は争っている暇はないのです。『怠惰な心は悪魔の遊び場』という言葉聞いたことはありませんか。人は、目標に向かって懸命に努力していないときは、簡単に気が散ってしまい、間違ったことに目を向けがちです。私達が怠惰になると、批判的になり、つい人を不当に判断してしまいます。ですから、私達が福音のために一生懸命働いていないと、教会で、分裂や言い争いが起こりやすくなるのです。また、主のために忙しく働いている人よりも、仕事をしないで傍観している人の方が、欠点を見つけたり、不和を引き起こしたりすることに時間を費やす傾向があることも知っておきましょう。

APPLICATION: Let's get to work! Become a laborer in God's kingdom. Join a team. Partner with others to help fulfill the Great Commission. Unity includes **laboring with one another for the Gospel.**

ですから、働きましょう！神の王国の労働者になりましょう。チームに参加しましょう。大宣教命令を達成するために、他の人と協力しましょう。一致団結する条件には、福音のために互いに努力することが含まれるのです。

Conclusion/Application

"Whose names are in the book of life" (v.3) That is the last phrase in our passage today. Euodia and Syntyche, Paul, Clement, and the Companion, all of them were saved. They are on the same team. They have the same Savior and Lord. They were washed clean by the same blood. And they are going to spend eternity together in heaven.

3節にある、『命の書に名を記されている』とは、今日の箇所の最後のフレーズです。エボディアとシンティケ、パウロ、クレメンズ、そして同行者、彼らは皆救われたのです。彼らは同じチームの一員です。彼らは同じ救い主、主を持っており、同じ血できれいに洗われました。そして、彼らは天国で永遠に共に過ごすことになるのです。

That is what unites us. The world today is full of conflict, division, hate, anger. But your name being in that Book is far more important than all the differences. None of those things matter. Every believer has equal value in God's sight. Jesus died for us all. Rich or poor, brown, yellow, black or white, young or old, if you are saved, your name is written there. And that is what gives unity. Don't let the world divide us.

それこそが、私たちを結びつけるものなのです。今日(こんにち)の世界は、対立、分裂、憎しみ、怒りに満ちています。しかし、あなたの名前がその書物に記されていることは、あらゆる違いよりもはるかに重要なことなの

です。他のことは一切関係なく、すべての信者は、神の目には等しい価値を持っています。イエスは私たち全員のために死んでくださいました。金持ちでも貧乏でも、肌がたとえ何色でも、黒人でも白人でも、若くても年寄りでも、救われているならば、あなたの名前は命の書に書かれています。そして、それこそが私達に結束を与えるのです。この世に、私たちを分断させてはいけません。